

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 32	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 ルリタマアザミの作型開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】川崎市では露地切り花の栽培が盛んであるが、近年、ルリタマアザミの栽培が開始されている。販売単価も高く、新品目として期待されているが、一斉収穫となりがちで他品目との作業が競合する。 【内容】秋季定植、翌春収穫が現行の作型であるが、早春に定植することで収穫期を初夏とできる可能性があるため、定植時期の検討を中心とした作型開発をお願いしたい。 【対象地域及び規模】川崎市馬絹地区 露地切り花生産農家 20 戸	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) I-2 (4) 花き・観賞樹の高品質・安定生産技術の開発 ア 直売所などへの出荷に適した花きの検索と栽培技術の確立	
対応の内容等 昨年提案された要望課題（カンパニユラに替わる初夏出荷露地切り花の品目検索）を受け、上記課題名の中で対応中です。いただいたご提案も初夏出荷露地切り花の栽培技術開発にあたりますので当該課題の中で対応を検討します。またルリタマアザミは宿根性で定植時期による収穫時期の検討は栽培初年のみで、栽培2年目以降はべた掛け被覆やトンネル被覆などの利用による収穫時期を検討することが考えられます。現地での設備投資に関する意向把握を行ってから課題化を検討しますので、情報提供のご協力をお願いいたします。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	